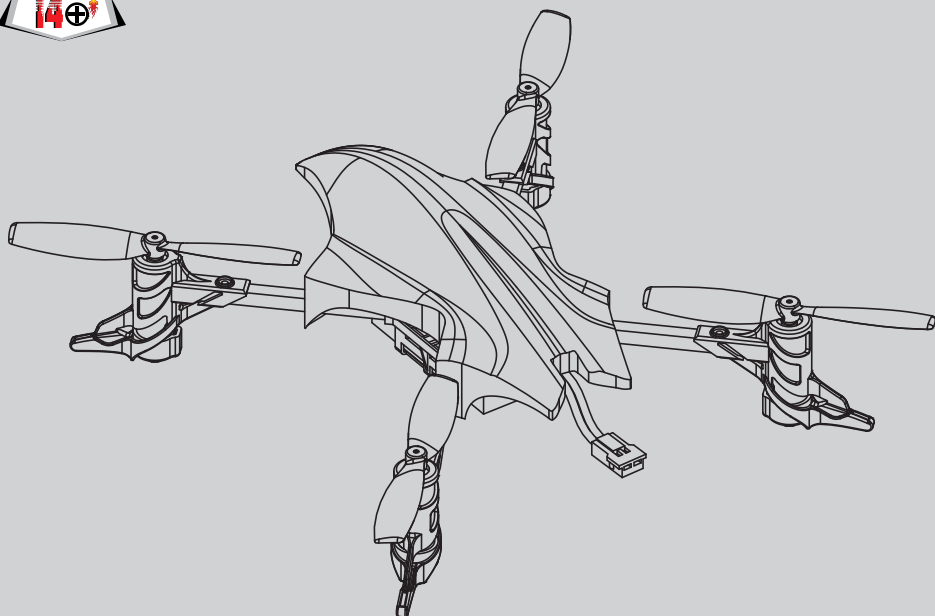




Nine Eagles[®]

ALIEN

日本語取扱説明書



HITEC
MULTIPLEX[®]

2.4GHz 4CH



NOTHING FLIES LIKE NINE EAGLES

ご購入頂きましたお客様へ重要なお願い

ご購入頂きました際の日付入りのレシートや納品書は初期不良交換の際に必ず必要となりますので、保管頂くようお願い致します。

目次

イントロダクション・重要事項・安全のために	1
フライト頂く前に必ずお読みください	2～3
スペック・梱包内容	4
展開図	5
パーツリスト・価格	6
送信機各部名称（MODE1）	7
送信機各部名称（MODE2）	8
デュアルレート設定・充電方法	9
モーター配線図・スティック操作量の設定	10
電源の入れ方・切り方・J6送信機（SLT仕様）使用時の設定値	11
バインド方法	12
スティック操作方法	13
トリム調整方法	14
プロペラ回転方向	15
新品交換保証・修理サポートについて	15
Q&A	16

イントロダクション

この度はALIENをお買い上げ頂きありがとうございます。よく説明書をお読み頂き、ご注意頂いたうえでフライトをお楽しみいただけますようお願い致します。当説明書はメンテナンスの際、必要となりますので、必ず保管くださいますようお願い致します。

当製品は4モーター式マルチコプターとして開発された安定性の高い機体です。しかしながら、操作によっては事故につながる恐れがございます。十分にご注意頂けますようお願い致します。必ず人や物を避け、十分に広いスペースでフライトしてください。また、メンテナンスを怠りますと、最悪の場合、各パーツが吹き飛び、怪我や破損を引き起こす恐れがあります。十分ご注意ください。

重要事項

当製品はおもちゃではありません。受信機や送信機は精密機器となります。取扱方法を誤ると重大な事故につながる恐れがあります。また、当製品をフライト頂くには適切なメンテナンスが必要です。十分ご理解頂いてからフライト頂けますようお願い致します。実際にフライト頂くにはご経験豊富なRCショップ様やフライトクラブ等、適切なアドバイスの下、安全にフライト下さい。当製品の性格上、フライトにおける損失・事故等にはいかなる保証も致しかねます。

フライト場所につきましては地域行政の指示に従って頂き、決して危険な場所でのフライトはお避け下さい。空港周辺・道路・公園・河川敷・広場などでのフライトは禁止されておりますので、十分にご注意ください。フライト場所にお困りの際やフライト方法に不安がある際は、最寄りのRC販売店様またはフライトクラブにお尋ね下さい。

安全のために

WARNING 適切な場所でフライトをしましょう

当製品をフライト頂くには、安全な場所を確保してください。当製品は高速でローターが回り、人や物に当たると大変危険です。また、周囲に建物や自動車、列車や航空機、高圧線や電線がないことも必要です。公共の場所やRC製品の使用が禁止されている場所でのフライトは絶対におやめ下さい。

WARNING 経験豊富な指導者の助言を得ましょう

当製品をフライト頂くに当たり、上達への近道は経験豊富な指導者の助言を得ることです。正しい設定方法やフライト方法を身につけるには最寄りのRCショップ様やフライトクラブに加入して助言を得ることです。また、フライトシミュレーターを活用することも十分な効果を得ることが出来ます。

WARNING 適切なメンテナンスが必要です

ヘリコプターを操作する際は、高速に回転するメインローターに十分ご注意ください。操縦者とヘリコプターとの間隔は必ず3m以上離れてください。事故や怪我がないように、適切なメンテナンスを心がけてください。当製品の性格上、初めてフライト頂く前にも必ず各部点検（ネジの緩みや電子パーツの動作確認など）を行ってください。

当製品をフライト頂くに当たり、初フライトを含め、各部点検を確実に行ってください。破損個所がある場合は、速やかにパーツ交換を行ってください。破損個所があるままフライト頂くと重大事故につながる恐れがあります。また、製品は直射日光に当たる場所や自動車内に放置しないでください。プラスチックが変形する恐れがあります。

フライト頂く前に必ずお読みください

- ・本機体は超軽量の為に風の影響を受けやすくなっております。部屋のエアコンや換気扇、窓からの風を遮断すると機体が流れることなく安定したフライトを楽しめます。
- ・初心者の方は出来るだけ家具の無い広い部屋（8～10畳）での練習をお奨めします。
- ・当製品は玩具ではありません。14歳以下のお子様には使用させないで下さい。また、お子様の手の届く場所に保管しないで下さい。
- ・飛行に慣れるまでは広い場所での練習をお奨めします。風の影響を受けますので、微風以下の環境で練習して下さい。
- ・メインローターは回転して大変危険です。飛行中は人の顔や手に回転物が接触しないように安全に飛行させて下さい。特に見物人にご注意下さい。
- ・本製品は室内専用モデルです。屋外では風の影響で正常に飛行出来ません。室内でもエアコン等の風の影響を受けます。
- ・飛行前に必ず各ビスの緩みや脱落がないかを点検して下さい。点検を怠ると最悪の場合、飛行中に部品が飛び危険です。また、激しい着陸や墜落の後には部品にヒビや割れが無いかを確認して下さい。
- ・飛行させないときは常に機体からバッテリーを取り外して下さい。そして保管中はお子様に触れさせないように注意して下さい。
- ・本機はLi-Poバッテリーを使用しています。この電池は取り扱いを誤ると発火等の危険な事態になる恐れがあります。取り扱い注意事項を守り、安全に飛行をお楽しみ下さい。
- ・本機のLi-Poバッテリーは純正充電器、機体での放電のみ可能です。それ以外の機器での充電や放電は絶対にお止め下さい。
- ・本機のLi-Poバッテリーの充電は高温や直射日光をお避け下さい。
- ・本機のLi-Poバッテリーの保管は金属ケースを避け、コネクタ端子がショートしないように保管して下さい。
- ・本機のLi-Poバッテリーを分解や改造しないで下さい。
- ・送信機と機体、及びLi-Poバッテリーは絶対に水に濡らさないで下さい。
- ・本機は他の2.4GHzの無線LAN等のワイヤレス機器と同じ周波数の電波を使用しています。飛行する際は電波影響のない場所でお楽しみ下さい。
- ・当製品の性格上、お客様がご使用（飛行）になつて起きました結果に付きまして、一切の保証は致しかねます事をご了承下さい。

【NineEaglesヘリコプター製品動作確認手順のご案内】

【機体破損の有無】

- 1.機体・送信機・付属品が揃っていることを確認し、欠品がないかをご確認ください。
- 2.機体・送信機・付属品に破損がないかどうかよくご確認ください。破損を発見した場合はフライトさせずに弊社カスタマーサポートにご連絡ください。

【プロボの動作確認手順】

- 1.プロボの電源を入れ、エルロン、エレベーター、ラダー、スロットルの各種スティック動かして引っ掛かりがないこと、スティックに追従していることを確認してください。
- 2.トリムスイッチを操作した時、すべてのトリムが正常に増減していることを液晶画面の数値で確認してください。その他スイッチ類が正常に切り替わることを確認してください。

【機体の動作確認手順】

- 1.プロボの電源を入れ、エレベータースティック、エルロンスティック、スロットルスティックを操作し、各操作が機体サーボに反映されているか確認してください。

フライト頂く前に必ずお読みください

【重要】Li-Poバッテリー 取り扱い上の注意（必ずお読みください）

1. 取扱上の重要事項

- ・LiPoバッテリーを使用するにあたり、必ず正しい取扱い知識を習得してください。
- ・充電は燃えやすいものが近くにない場所で、目を離さないように行って下さい。
- ・過充電の火災に備えて消火器等を備えてください。
- ・充電は必ず付属の送信機または専用充電器をご利用下さい。
- ・送信機・専用充電器での充電のみご利用頂き、機体以外での放電は行わないで下さい。
- ・本製品は模型用充電式リチウムポリマー電池です。他の用途には使用出来ません。
- ・変形や臭い、変色等の異常を見付けた場合は使用しないで下さい。
- ・電池パックを絶対に分解・改造しないで下さい。
- ・過放電してしまったバッテリーはご使用頂くことができなくなります。放電し過ぎないようにご注意ください。
- ・軽い過放電でも繰り返してしまいますとLiPoバッテリーが次第に傷んでいき、すぐにご使用頂けなくなります。
- ・LiPoバッテリーは消耗品となりますので、初期不良品以外の交換・返品は致しかねます。

2. 充電時の注意

- ・充電中は離れずに常に監視をして、異常事態に対処して下さい。
- ・万一充電中にリチウムポリマーバッテリーが膨れ始めたら直ちに充電を中止してください。（さらに充電し続けると爆発します）バッテリーを外して安全な場所で様子を見て下さい。
- ・リチウムポリマー電池にはメモリ効果がないため、放電無しで追加充電するだけで使用可能です。
- ・送信機で充電頂く際はスイッチを切っても微弱電流が流れるため、その状態で数時間放置すると過放電になってしまいます。充電完了後は、バッテリーを必ずUSB充電器から抜くようにして下さい。
- ・充電中は電池と充電器を不燃性の台の上に設置して下さい。
- ・充電器は高温になりますので、火傷にご注意下さい。
- ・充電が完了したら必ず電池を充電器から取り外して下さい。
- ・充電前に電池をよく確認して、少しでも膨らんでいる場合は、ダメージを受けている恐れがありますので、絶対に充電（使用）しないで下さい。
- ・充電は電池温度が0～35度の範囲で行って下さい。

3. 機体がクラッシュ（墜落）した場合

- ・墜落や衝突で電池が強い衝撃を受けた場合、膨張発火の恐れがありますので、発火しても火災にならない場所に暫く放置して様子を見て下さい。
- ・強い衝撃を受け、内部構造が変形した電池や、被覆が破れた電池は使用出来ませんので適切に破棄して下さい。

4. 電池の保管・保存

- ・必ず丈夫なケースに入れて保管し、コネクタの端子間がショートしないように注意して下さい。
- ・電池のラミネート被覆は絶対に穴を開けないで下さい。発火の恐れがあります。
- ・保存可能温度は-20～60度ですが、性能を保つためには10～50度の範囲内の乾燥した場所に保存して下さい。25度での保管が最も性能劣化を防げます。
- ・車内など60度以上の高温状態に放置すると発火する場合があります。
- ・長期保存の場合、少なくとも6ヶ月に一度は充電→放電→保存充電を行い、性能を維持して下さい。
- ・電池から液が漏れていた場合、直接手を触れないで下さい。
- ・満充電で放置しないで下さい。気温が上昇した場合は電圧が上がり、過充電状態になり電池が膨らみ危険です。保存する場合は50～70%程度の充電量で保存して下さい。

5. 電池の運搬・廃棄

- ・電池の運搬中は電池表面に力が掛からないようにケースに入れて運搬して下さい。
- ・破棄する場合は放電した後に端子にショート防止のテープを貼り廃棄して下さい。
- ・絶対に火の中に投じないで下さい。爆発します。
- ・破棄は各自自治体に問い合わせるか、リサイクル協力店にお願いして下さい。
- ・Li-Poバッテリーは小型軽量で高性能ですが取扱を誤ると大変危険な電池です。
- ・最悪の場合、火災・死亡事故に至る危険性を持つことを十分に理解して慎重にお取り扱い下さい。
- ・その為に当説明書を必ず最後までお読みになり、注意事項を厳守下さるようお願い致します。

スペック

形式：NE MASFO2

使用周波数：4ch-2.4GHz帯 SLT方式 同時飛行可能台数約30台

全長：122.5mm

全幅：122.5mm

全高：29mm

重量：32g

機体バッテリー：1セル 3.7V/250mAh Li-Po

飛行可能時間：4～6分（条件により異なります）

充電時間：30～50分程度（条件により異なります）

送信機バッテリー：単3×4本（6V）アルカリ電池推奨

※当製品は送受信電波に「Hobbicoプロトコル」を採用しています。このため、これまでのNineEagles製品（SoloMaxxやHughesSX, SoloPro328など）とは互換性がありません。このため、これらの機体と当製品に付属の送信機はバインドできません。

梱包内容

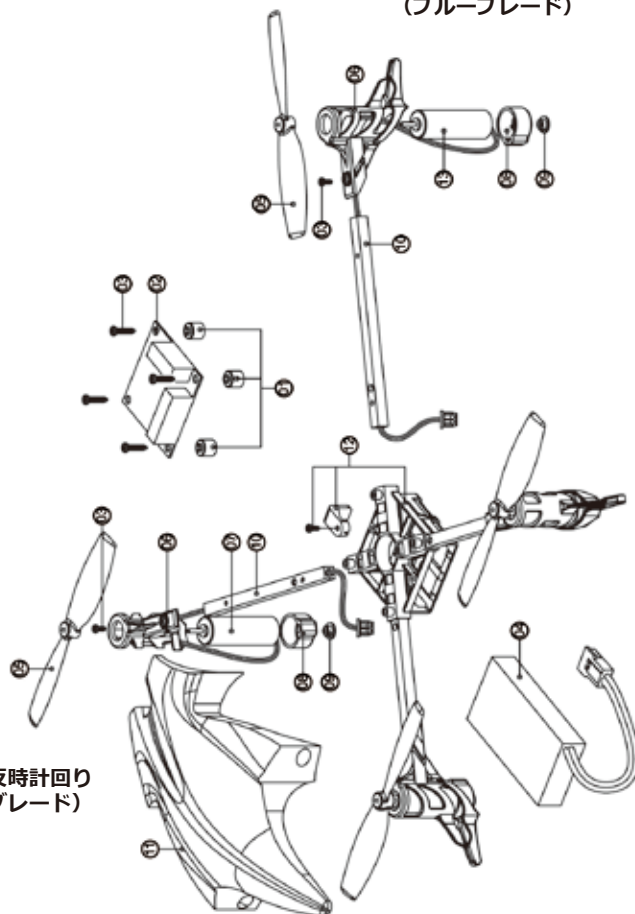


内容	数量
機体本体	1
SLT仕様J4送信機	1
LiPoバッテリー	1
精密ドライバー	1
USB充電器	1
単三乾電池	4

※セット内容は予告なく変更となる場合があります。何卒ご了承ください。

ALIEN展開図

回転方向：時計回り
(ブルーブレード)



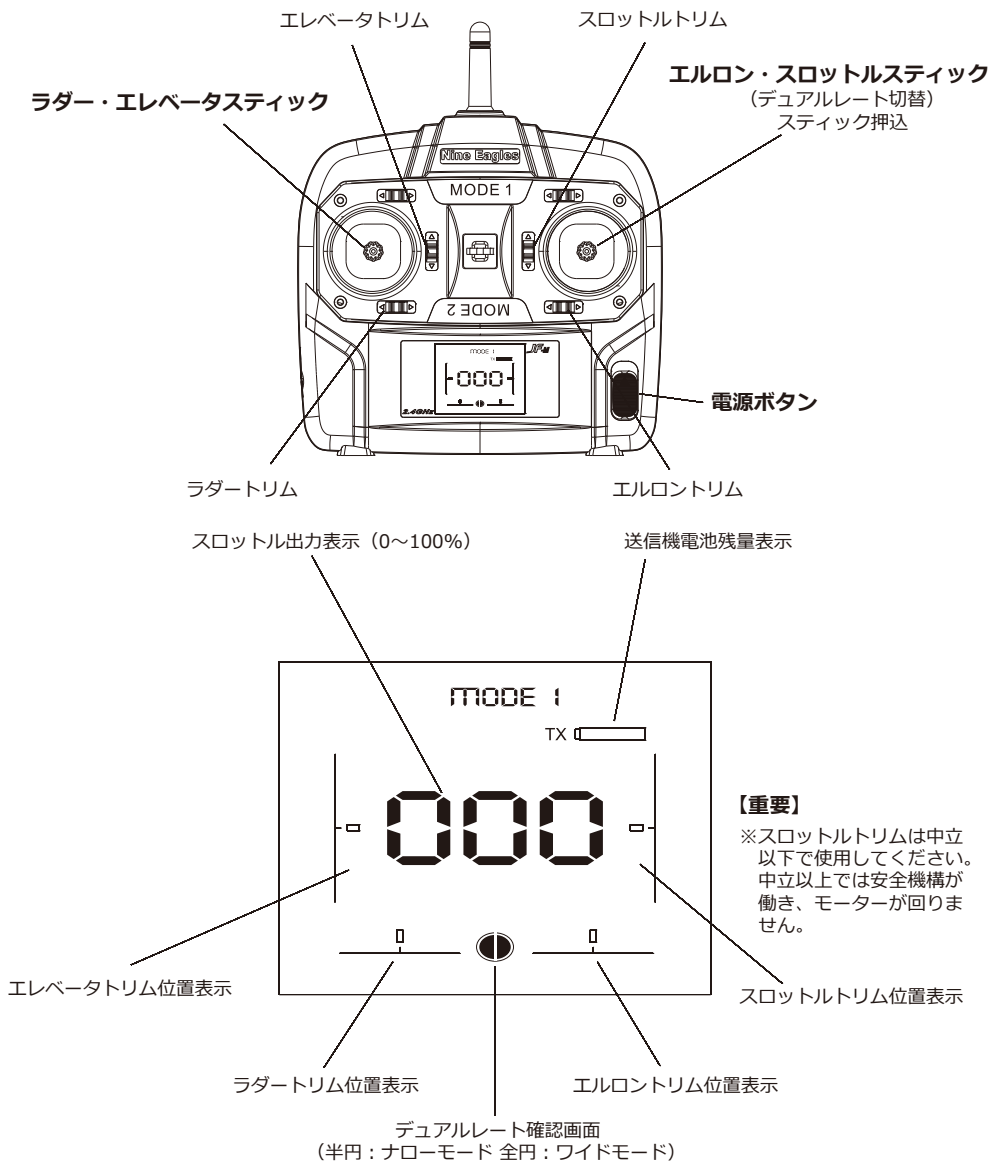
回転方向：反時計回り
(オレンジブレード)



No.	品番	名称	価格(税込)
01	NE400388	ラバーフィックスセット	¥420-
02	NE480149	受信機セット (SLT仕様)	¥6,300-
03	NE400400	スクリューセット	¥210-
04	NE480151	LiPoバッテリー	¥1,995-
05	NE400389	プロペラセット	¥840-
	NE480146	USB充電器	¥1,260-
10	NE400395	サポートチューブセット	¥630-
11	NE400396	キャビンセット (Yellow)	¥1,050-
	NE400402	キャビンセット (Red)	
12	NE400399	バッテリーフレームセット	¥630-
06 07 08 09 10	NE400397	モーターセット (反時計回り用)	¥945-
06 08 09 10 13	NE400398	モーターセット (時計回り用)	¥945-

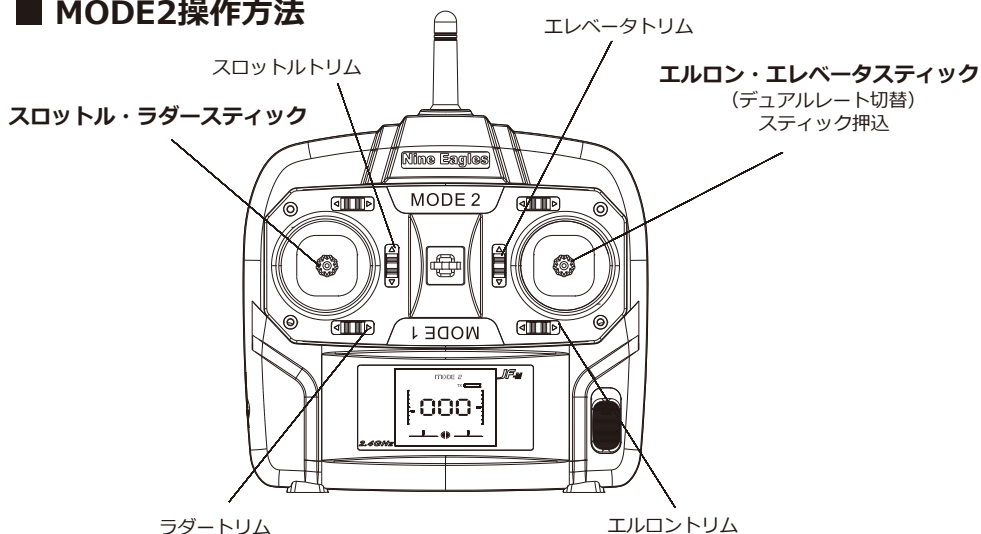
送信機各部名称 (MODE1)

MODE 1 操作方法



送信機各部名称 (MODE2)

MODE2操作方法



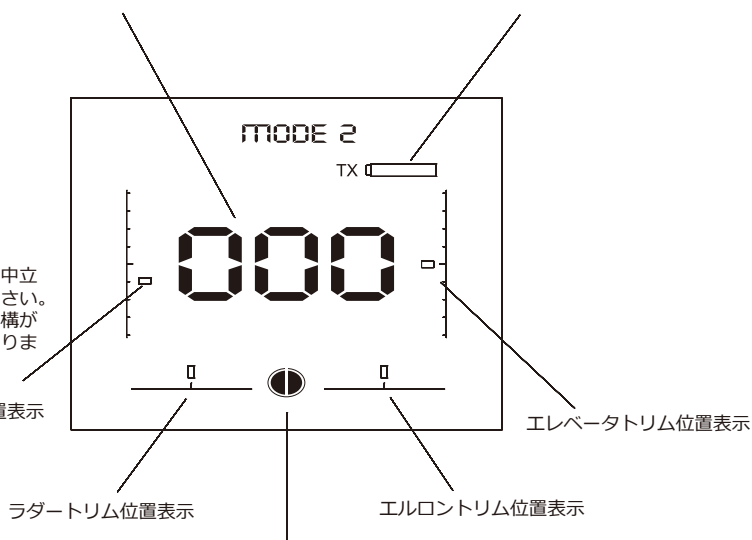
スロットル出力表示 (0~100%)

送信機電池残量表示

【重要】

※スロットルトリムは中立以下で使用してください。中立以上では安全機構が働き、モーターが回りません。

スロットルトリム位置表示

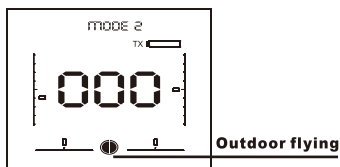
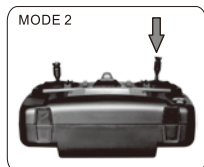


デュアルレート確認画面
(半円：ナローモード 全円：ワイドモード)

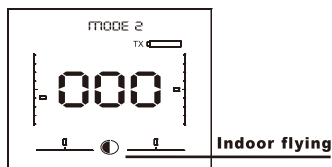
デュアルレート設定

デュアルレート設定とは送信機操作量をワイド（100%）・ナロー（70%）2通りに切り替えができます。ナローモードは主に室内向け、ワイドモードは屋外向けとなります。

- 1.送信機の電源が入っている状態で右スティックを押し込みます。
- 2.送信機液晶画面でワイド・ナローモードどちらかが確認できます。



ワイドモード



ナローモード

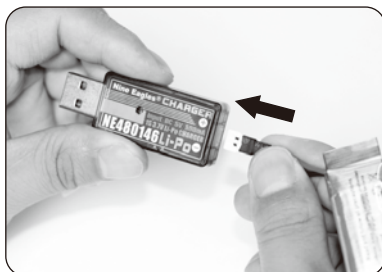
※ワイドモードでは操作量が大きくなり、機体が大きく反応します。このため、狭い空間でフライトすると衝突などする恐れがありますので、十分ご注意ください。

充電方法（USB）

付属USB充電器で充電が可能です。パソコンなどのUSB端子に充電器を差し込み、バッテリーを差し込んでください。充電中は赤いLEDが点灯します。充電が完了すると消灯しますので、速やかにUSB充電器を取り外します。

【重要】

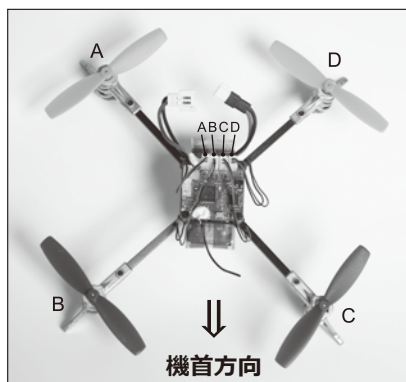
充電完了後、速やかにバッテリーを外さないと過放電する可能性があります。この場合、バッテリーがご使用頂けなくなりますので、十分ご注意ください。また、充電中は常に監視し、異常事態があれば速やかにUSB充電器自体を取り外してください。



モーター配線図

当製品はモーター配線を間違えますと、正しくフライトできません。メンテナンスや修理後の配線については下記を参照頂き、正しく配線してください。

- ・モーターAは受信機Aのコネクタに接続します
- ・モーターBは受信機Bのコネクタに接続します
- ・モーターCは受信機Cのコネクタに接続します
- ・モーターDは受信機Dのコネクタに接続します



スティック操作量の設定

当製品はデュアルレート設定だけでなく、操作量を設定できます。舵の効き具合をより大きく取ることでアクロバティックな飛行をお楽しみ頂けます。

初期設定値は「40」となっていますが、20～100まで設定できます。ただし、100に設定すると操作困難になります。

※下記写真はMODE2での説明です



【20（よりマイルド）～40（初期値）～80（クイック）】

設定方法

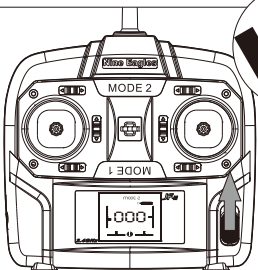
※下記説明はMODE1での説明です。MODE2では写真の通り右スティックを押し込んだ状態にします。

- 1.送信機電源を入れた状態で、ラダー・エレベータスティックを押し込みます。すると、「ビッピッピッ・・・」とアラーム音がなります。
- 2.「1」の状態を保ったまま、スロットルスティックを希望の値（20～100）に合わせ（スロットルを上げます）、スロットルスティックを押し込みます。
- 3.両手をスティックから離し、一旦送信機電源を切ります。

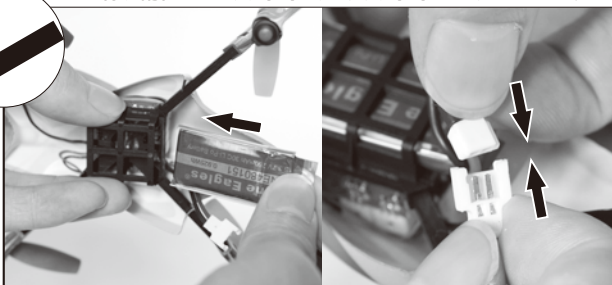
上記手順をした後、通常通り送信機電源を入れ、機体にバッテリーを繋ぐと、設定した通りの操作量となります。大きな数値を入れ過ぎますと、機体が大きく傾き大変危険です。十分ご注意下さい。

電源の入れ方

1.送信機の電源を入れます



2. LiPoバッテリーを機体に差し込み、電源コネクタに接続します。 この際、配線のプラス (+) マイナス (-) に十分注意します。



※電源を入れた際、スロットルトリムが中立以上に設定されていないか確認します。中立以上に設定されている場合、安全機構が働きモーターが回りません。この場合は、スロットルトリムを中立以下に設定すれば、モーターが回る状態となります。

電源の切り方

■ 上記手順とは逆の手順で電源を切ります。

- 1.機体のバッテリーを取り外します。
- 2.送信機の電源を切ります。
- 3.各部ネジに緩みがないか、破損していないかを確認してください。

J6 送信機 (SLT仕様のみ) 使用時の設定値

CH No.	リバーズ 設定	Expo.設定値					D/R設定	
		1	2	3	4	5	Narrow	Wide
CH1	REV	0E					80	100
CH2	NOR	0E					80	100
CH3	NOR	0	25	50	75	100	/	/
CH4	NOR	0E					80	100
CH5	NOR	0E					/	/
CH6	NOR	変更する必要はありません					/	/

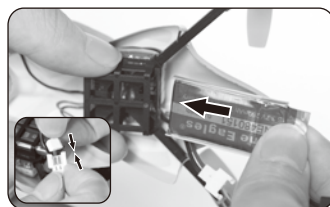
受信機のBind設定手順

送信機は1台1台独自のIDを持っています。この送信機のIDを受信機に登録する作業を「Bind（バインド）」と呼びます。工場出荷時にはこの作業は済ませてあります。手持ちの送信機で他の機体を操縦する場合や他の送信機に機体を合わせる場合、そして受信機ユニットの修理などを行った際にこの作業が必要となります。

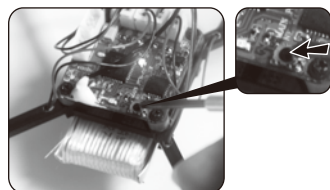
※稀にバインドが切れる場合もあり、その際もバインド設定が必要になります。

1.まず送信機の電源を入れます。

2.機体にLi-Poバッテリーを挿入し、受信機のLEDがゆっくり点滅することを確認します。受信機内のBIND用ボタンを押します。



3.Bindが完了すると受信機のLEDが高速点滅します。



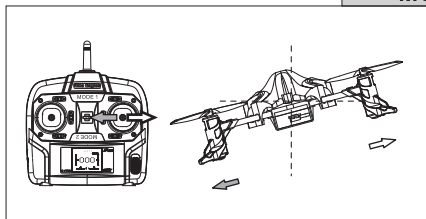
4.送信機のスロットルスティックを一旦最スローしてから上げて機体のモータが回ることを確認します。

5.機体と送信機の電源を一旦OFFにして下さい。

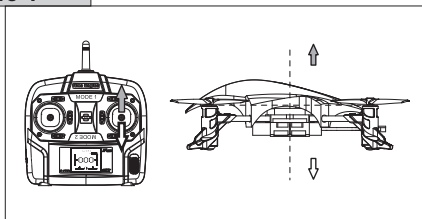


スティック操作方法

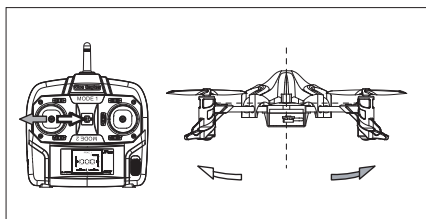
Mode 1



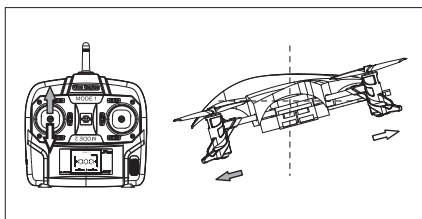
1.エルロンスティックを左右に動かすと機体は水平方向の左右に移動します



2.スロットルスティックを上下に動かすと機体は上昇・下降します

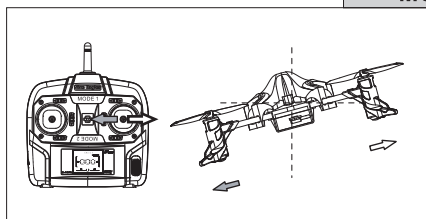


3.ラダースティックを左右に動かすと機体はその場で左右に機首を振ります

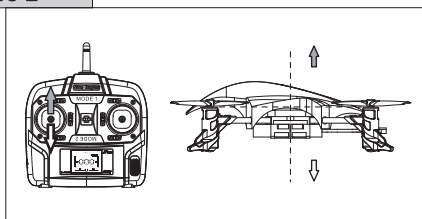


4.エレベータスティックを上下に動かすと機体は前進・後進します

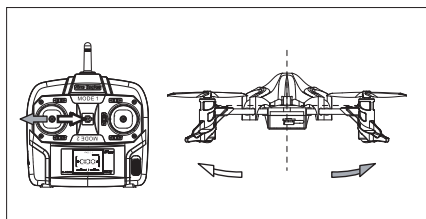
Mode 2



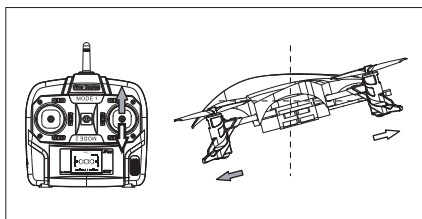
1.エルロンスティックを左右に動かすと機体は水平方向の左右に移動します



2.スロットルスティックを上下に動かすと機体は上昇・下降します



3.ラダースティックを左右に動かすと機体はその場で左右に機首を振ります



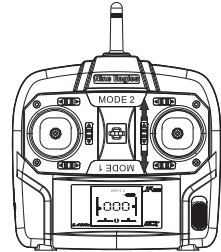
4.エレベータスティックを上下に動かすと機体は前進・後進します

トリム調整方法

Mode 1

スロットルトリム調整

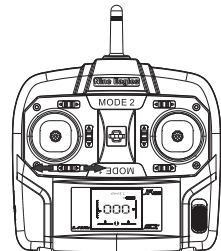
スロットルトリムは調整する必要はありません。ただし、スロットルトリムポジションが中立以上に設定されていると、安全機構が動作し、モーターが回らない仕組みになっています。必ず中立以下に設定してご使用ください。



ラダートリム調整

機体がある場で回転する場合、回転を止めるためにラダートリムを使用し、機体が回転する方向とは逆に調整します。

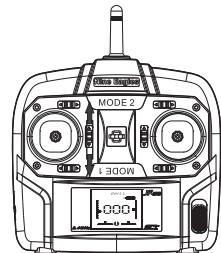
機体を上から見て時計回りに回る場合は、トリムを左方向へ調整し、反時計回りに回る場合は右方向へ調整します。



エレベータトリム調整

機体が前進・後進してしまう場合は、エレベータトリムを使用します。機体が進んでしまう方向とは逆に調整します。

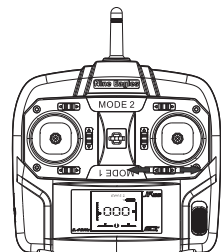
機体が進んでしまう場合は、トリムを下方向へ調整し、後退してしまう場合は上方向へ調整します。



エルロントリム調整

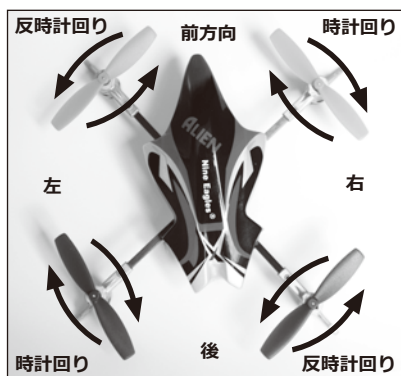
機体が水平方向の左右に移動してしまう場合は、エルロントリムを使用します。機体が進んでしまう方向とは逆に調整します。

機体が右へ移動してしまう場合は、トリムを左方向へ調整し、左へ移動してしまう場合は右方向へ調整します。



プロペラの回転方向

モーターの回転方向とプロペラの向きが正しくないとフライト出来ません。実際にモーターを回転させ、下図の通りモーターが回ることを確認してください。特にモーターを交換した際や、プロペラを交換した際は必ず確認してください。



新品交換保証について

万一機体が大破してしまった際、弊社では定価（RTF一式）の約半額で新品に交換できる「新品交換保証」制度があります。また、修理をご依頼いただいた際、修理金額が下記新品交換保証額を上回ってしまう場合は、「新品交換保証」を適用させていただきます。

新品交換保証額：7,500円

「新品交換保証」を適用させて頂くには、弊社で販売されたことを証明する「元箱」・「日本語説明書」・「機体など付属品一式」を弊社へお送りください。その際、「修理依頼票」にご記載頂けますようお願いいたします。

修理・サポートについて

修理サポートをご要望の場合は、別紙の「故障かなと思ったらお読みください」をご覧ください。弊社まで商品一式をお送りください。お電話またはお問い合わせフォームをご利用頂くことで解決できる問題も多くございますので、トラブルがあった際はお送り頂く前に弊社カスタマーサポートまでご連絡頂けますようお願い致します。

Q&A

Q. 離陸させようとするとき機体が大きく傾き、離陸できない。

A. バッテリーを装着する際、機体を手にお持ち頂いた状態で接続すると正しくジャイロが機能しない場合もありますので、出来るだけ水平な場所に置いた状態でバッテリーを繋ぎ、起動してからバッテリーホルダにバッテリーを挿入するようにしてください。

Q. プロペラが外れやすくなった。

A. プロペラに衝撃が加わった際にプロペラ中央のモーター軸取付穴が緩む場合があります。この場合はプロペラを交換して下さい。緩んだ状態でフライトすると、フライト中にプロペラが吹き飛ぶことがあります。十分ご注意ください。

Q. モーターを交換したらフライト出来なくなった。

A. 4つのモーターはP.15に記載しております通り、時計回り用モーターと反時計回り用モーターがあります。正しく配置しないと正しくフライトが出来ません。再度ご確認ください。

Q. プロペラを取り付ける向きは決まっていますか？

A. 決まっています。正しく浮力が付く向きに取り付ける必要があります。

Q. フライト出来なくなるまでバッテリーを使用してから、バッテリーが充電できなくなった、充電してもすぐに動かなくなった。

A. バッテリーが過放電している可能性があります。過放電とはモーターが動かなくなるまでご使用いただくと、充電できなくなることがあります。1セルバッテリー（3.7V）の場合、3.7V以下になると過放電と言えます。バッテリーチェッカーや電圧テスターでバッテリー電圧を計測することで判断できます。

Q. 送信機からアラーム音がするようになった。

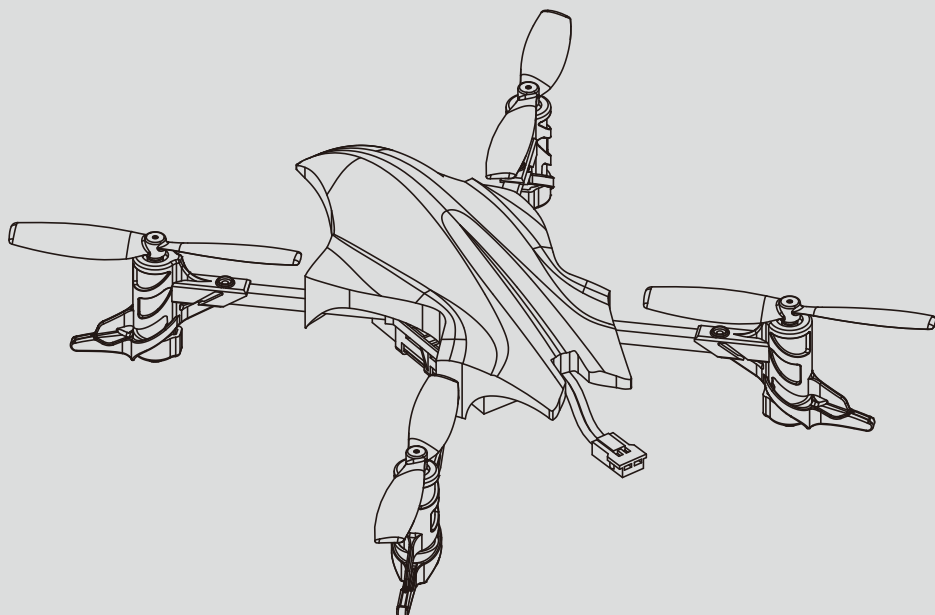
A. 「ピッ・・・」という音は、送信機の単三電池残量が少なくなった際のアラーム音です。単三電池を交換して下さい。

Q. LiPoバッテリーの充電時間はどのくらいですか？

A. バッテリー残量にもよって変わってきますが、40分前後となります。

NOTHING FLIES LIKE NINE EAGLES

2.4GHz 4CH



◎ 輸入販売元

お問い合わせ

〒133-0057 東京都江戸川区西小岩1-30-10 1F

株式会社ハイテック マルチプレックス ジャパン

Nine Eagle専用ダイヤル：03-6458-0191

受付時間：月～金曜日（祝日・夏期休暇・年末年始を除く）

10:30～12:30, 13:30～16:30

Web Site: www.hitecrd.co.jp

HITEC
MULTIPLEX®

Copyright © 2012 Hitec Multiplex Japan, Inc. All Rights Reserved.